

■ 手をつなぎ、心通わす 誘(ゆう)・融(ゆう)(融け合う)老上 (老上小学校)

1 【活動の趣旨】

創立137年の歴史がある本校は、駅周辺の開発が進み、新しく学区に住む住民が増えている。本取組により、こどもたちが身近な地域の方にたくさん触れ、ふるさとを愛し、豊かな人間性を身につけてほしいと願い、実践している。

2 【特徴的な活動内容】

○「老上安全大作戦！」

3年生が、校区探検を行う中で自転車に乗る中・高生と細い道ですれ違うことも多くある。また、車通りが多い道路が通学路になっていて、交通安全に気をつけるべきだという思いをこどもがもったことから学習をスタートさせた。学習では、地域の方や保育園、郵便局員の方などに普段、安全のために気をつけていることを聞くなどし、「地域の交通安全のために何か行動をしたい」という気持ちを高め、自分たちの願いの実現に向けて取組を進めた。



【警察の方と
交通安全について】

3 【実施に当たっての工夫】

○地域コーディネーターと各学年の担当者を中心に連絡調整を行いながら、学習計画を作成している。その際、学校での総合的な学習の展開方法やねらいなどを丁寧に伝えることで、学校と地域の取り組みが繋がるようにしている。また、老上ふれあい農業合校の畑には、年間の作業を掲示するホワイトボードが設置され、常に地域住民が確認できるようになっている。

4 【事業の成果】

- こどもたちが地域の方の生活の様子や考え方に触れ、地域のよさや学区への愛着を感じられるようになり、豊かな人間性を養うきっかけとなる取り組みとなっている。
- 地域の方々と触れ合ったことがきっかけになり、家庭でも地域のことが話題に上がり、保護者の方々も地域について興味を持つきっかけを与える役割を果たしている。

5 【事業の今後の展望】

○総合的な学習の時間の下準備として、綿密な打ち合わせ及び準備が必要になる。働き方改革が叫ばれる昨今の教育現場の状況を鑑みて、学校と地域それぞれの負担の軽減に取り組むことが必要である。また、長年地域学習に係わる方々からは、高齢化の進行で事業の継続がより困難になってきている現状の改善がなかなか進まず、例年並みの学習活動が今後も継続していけるかが課題になっている。